

平成 28 年度事務事業評価表(一般事業・継続)

No. 295

事務事業名	大村市農林水産まつり事業
-------	--------------

作成日	平成 28 年 9 月 30 日		
部局名	農林水産部		
課名	農業水産課		
課長名	下玉利 輝幸	内線	266
担当者名	原口 辰男	内線	252

基本目標		活気に満ちた産業のまち
政策	040101	魅力ある農林水産業の振興
施策		農業の生産性の向上と販路拡大
関連施策		

会計	一般会計	
款	6	農林水産業費
項	1	農業費
目	3	農業振興費
事業コード	280000	

事業類型	5	負担金・補助金事業
個別計画		
重点事業		

【PLAN(計画)】

対象(者) 誰(何)に対して事業を行うか	大村市農林水産まつり実行委員会		
意図 対象をどのような状態にしたいか	農林水産物の収穫が豊富な11月下旬に大村市農林水産まつり「おおむら海と大地の感謝祭」を開催することで、地元農林水産物のPR及び消費拡大を図る。		
事業概要 意図を達成するために実施することは何か	「おおむら海と大地の感謝祭」を開催する大村農林水産まつり実行委員会に対して定額補助する。		
事業期間	平成 27 年度 ~ 平成 28 年度	実施方法	補助
根拠法令、要綱等	大村市農林水産振興事業補助金交付要綱		
国・県補助事業に係る本市単独施策			

【DO(実施)】

指標名(上段:名称/下段:算定式等)		単位	25年度	26年度	27年度	28年度	備考	
活動指標	① イベント数	計画値			11	20	出店ブース+プログラム数	
		実績値			16			
		達成度	%			145.5%		
活動指標	② 出演者数	計画値			220	220		
		実績値	人			300		
		達成度	%			136.4%		
成果指標	① 来場者数	計画値			10,000	10,000		
		実績値	人			10,000		
		達成度	%			100.0%		
成果指標	② まつり開催に伴う農畜産物販売額	計画値			2,000	2,000		
		実績値	円			1,640		
		達成度	%			82.0%		

年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	全体計画
① 事業費(千円)	0	0	1,200	1,200	1,200	1,200	1,200	0
国庫支出金								
県支出金								
地方債								
その他			600					
一般財源			600	1,200	1,200	1,200	1,200	
② 人件費(千円)	0	0	353	509				
職員人数(人)			0.05	0.07	大村市農林水産まつり「おおむら海と大地の感謝祭」に係る経費の一部を定額助成する。	大村市農林水産まつり「おおむら海と大地の感謝祭」に係る経費の一部を定額助成する。	大村市農林水産まつり「おおむら海と大地の感謝祭」に係る経費の一部を定額助成する。	
時間外勤務(時間)								
嘱託等人数(人)								
フルコスト(①+②千円)	0	0	1,553	1,709				

※財源内訳中の「その他」には、保険料・寄付金・基金・利用料等の収入を記入しています。

【CHECK(評価)】

事業の進捗状況 昨年度の評価から、どのような取組をしましたか(昨年度の【ACTION】の改善・改革の進捗等)	平成27年11月29日(日)大村市農林水産まつり「おおむら海と大地の感謝祭」開催した。
事業が抱える問題・課題等	

妥当性	【必要性】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	大村の新鮮な農・林・水産物を広くPRするとともに、地産地消の促進で農林水産業の振興を図ることは必要である。						
有効性	【市の関与】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	農林水産業の振興による地域経済の活性化のためには農業関係団体と市が一体となった取り組みが必要である。						
効率性	【事業成果】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	農林水産物が豊富な時期に開催することが地元農林水産物を知るきっかけとなり、消費へと繋がる。						
効率性	【施策貢献度】	高い	やや高い	やや低い	低い	該当なし	
	まつりをとおし、地産地消を進めることで農林水産業の振興へ繋がる。						
効率性	【コスト】	削減の余地なし		削減の余地あり		該当なし	
	平成28年度に作成予定、補助金ガイドラインについて検討する。						
効率性	【負担割合】	見直しの余地なし		見直しの余地あり		該当なし	
	平成28年度に作成予定、補助金ガイドラインについて検討する。						

※事業類型が1～3に該当する事業については妥当性及び有効性の評価は記入していません。

【ACTION(改善・改革)】

今後の方向性	現状維持
--------	------

内容 今後の方向性のもとで、どのような取組をするか(課題や問題点等に対する取組など)	今後も、「おおむら海と大地の感謝祭」を開催し、地元農林水産物をPRし消費拡大を図る。
効果 事業の改善・改革によって期待される効果は何か	

1次評価	今後の方向性	担当者意見のとおり		2次評価	対象外	今後の方向性
	終期設定				終期設定	
	意見等				内容	

※1次評価は事業担当課長等、2次評価は2次評価委員会によって行われます。